

鬼巫女嫁墮

故郷で調子こいてた性悪鬼ロリババアが
自業自得で全てを失い転がり込んで来た
のでお嫁さん兼オナホにしてやる話。

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



素敵な逢瀬だった

明日大切なものを
あげたいから
いつもの場所
待っている



村で祀られている
巫女様と偶然
仲良くなった
ある年の夏休み

花火大会の夜に
そう告げられた

きっと自分の
情けない日々が
変わる

漫画やドラマの
ように——
そう確信した





巫女様に
指定された場所に
行ってみると

ただ
次の日



巫女様は二人を
従えるように
俺を見てバカにした
ように笑っていた



その場には
クラスの
いじめっ子達がいて



あっ



あいつこんなの
持ってたぜ巫女様

ほう野花か…

手土産とは
いじらしい
ではないか

じゃが…ふふ



ままごとじゃ♥

ゲ
ー
ヤ
ッ



クククッ!

何を驚く?
まさか相手に
してもらえると
思ったのか?

家柄も顔も悪い
負け犬が♥

だが多少は
そなたとの遊びも
楽しめたぞ♥

今からこの童共と
お楽しみする故
見学くらいは
許してやろう♥

ぬははははっ

そうして
俺の初恋は
踏み躪られ

高校を卒業
する頃逃げる
ように故郷を
去ったー

それから二十数年

都会に出てきても
芽が出ることもなく

鬼巫女様の言葉通り
負け犬のまま
孤独に死ぬのかと
思い始めた頃





繁栄の加護を
与えるのを
サボって
おつてなあ

それで村が
どんどん寂れ
貢物もシヨボク
なつていき...

もぐ...

貴様の故郷は
ダムに沈んだ
のじゃ...

えっ

いや実はな...



むいた桃



あえなく廃村...と
うわホントだ
知らなかった...

そうするとダム建設と
多額の補助金を伴う
集団移転の話が来てな



腹が立ったので
溜め込んでいた
繁栄の加護を一度に
使ったのじゃ

うう
そんな雑な...



じゃが村の連中が
思ったほど故郷に
執着がなく...うう...

あえなくとはなんだ
ワシは最後まで反対
したぞ!

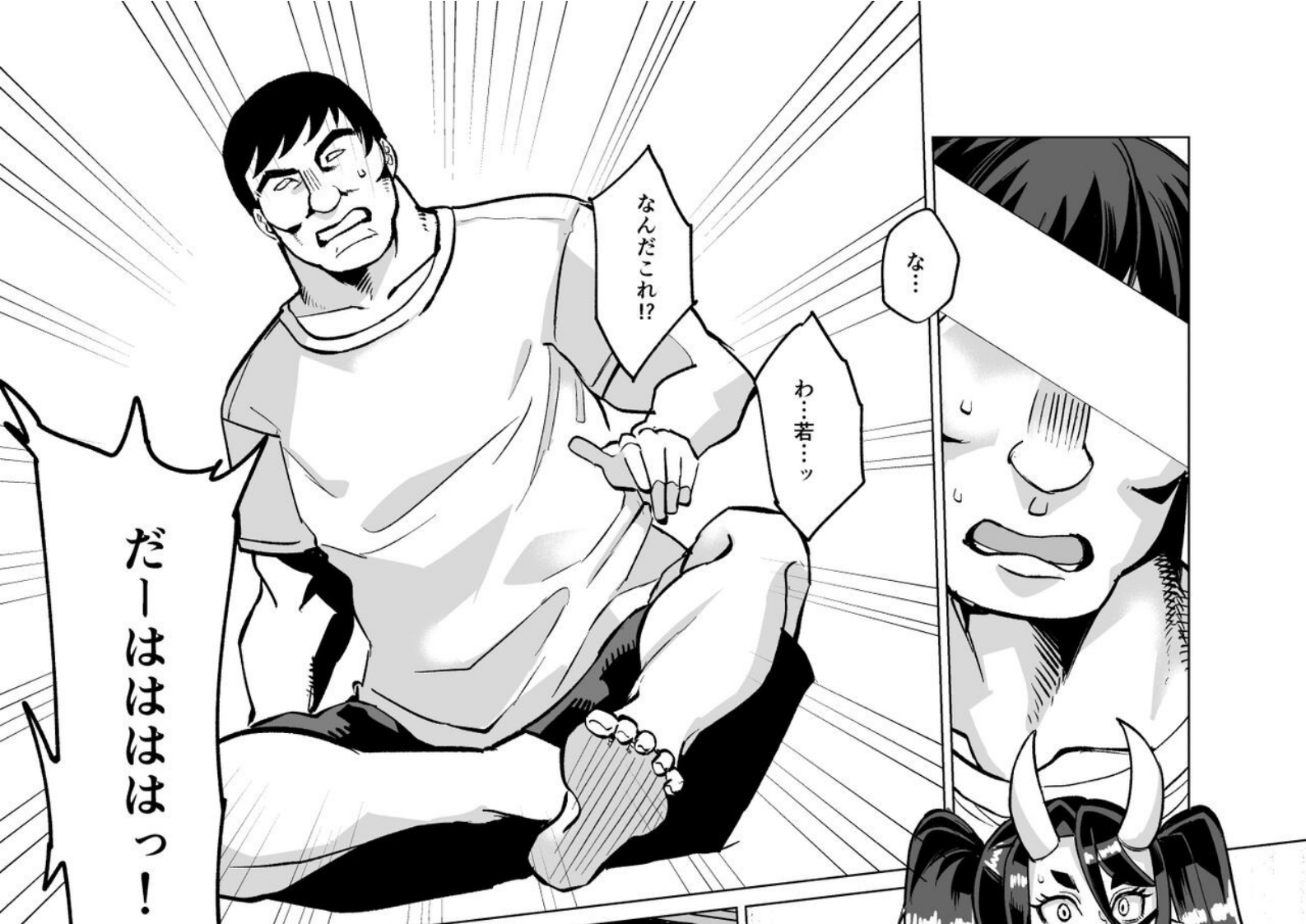


それで行く宛無く
俺の家に...?!

悪いか!

ワシも何も
タダで小汚い
小屋を貸せとは
言わん...

手鏡で
己の顔を見ろ



なんだこれ!?

な...

わ...若...ッ

だーははははっ!



ちよ...ちよっと待てよ!

急に若返りとか言われても現代では戸籍や人間関係が...!

ああ!?



その桃はかの桃太郎の両親が食らった回春の神桃よ



なんじゃその態度は...

折角若い肉体を寄越してやったのだからキリキリワシの為に働

ぐえ



ワシが持つ宝物でも特級の珍品じゃ感謝せよ!



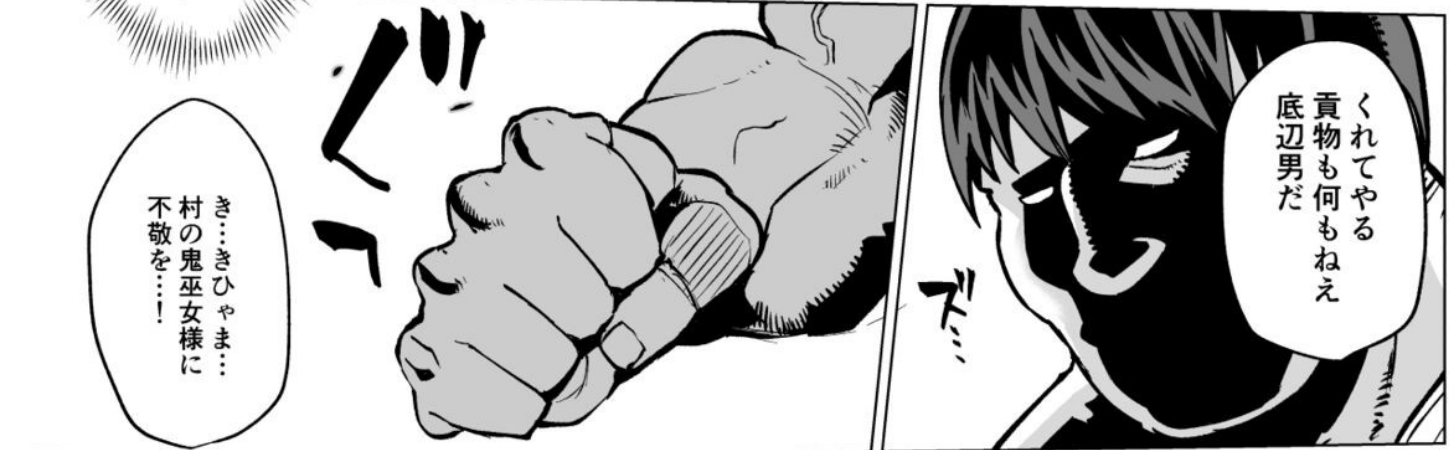
が…
なにお…

こっちの
セリフだよ
クソババア

テメエに純情弄ばれて
踏み躪られてから
俺は負け犬人生だよ

ぐ…う…

なんじゃ
この力は…!



くれてやる
貢物も何もねえ
底辺男だ

き…きひやま…
村の鬼巫女様に
不敬を…!



ごぼっ!?



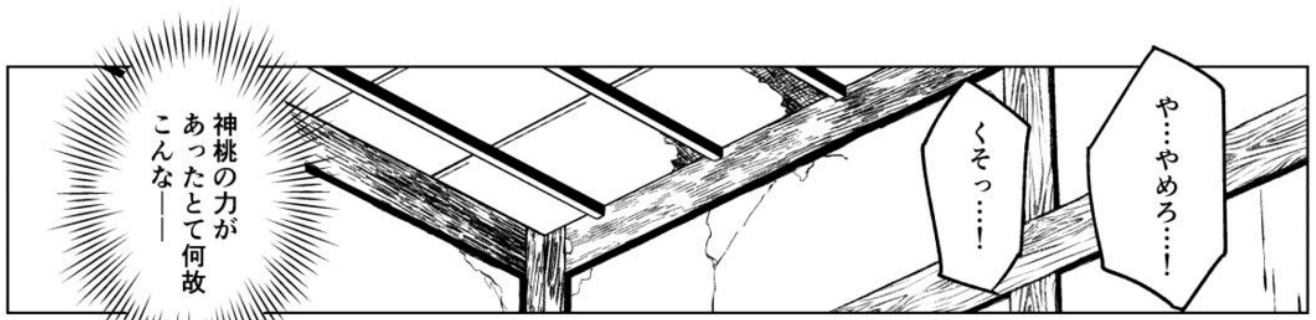
だらん…

こんな弱かった
のかよアンタ

いや…
マジかよ…



その村に見捨てられた
くせにいつまで
偉そうにしてんだよ!







ら...らやっ♡

キモい
キモい
キモい♡

ぐうう♡
キモい♡



はあっ
これが俺の
もんに...っ

すぐ母乳も
出るように
してやるっ

ちほっ

ちゃほ



そんなこと
よりも早く
チンポじゃっ♡

早くそれを
ブチ込んで...

ほんぎよっ♡



な〜に勝手に
マンズリ扱いて
んだ馬鹿鬼

おっ♡
おっ♡

ガッ
ガッ
ガッ

キョッ





此奴チンポ入れぬ
つもりか…ッ

雄なんぞ女の穴に
チンポぶち込む事しか
考えておらぬ阿呆
ばかりではないのかッ

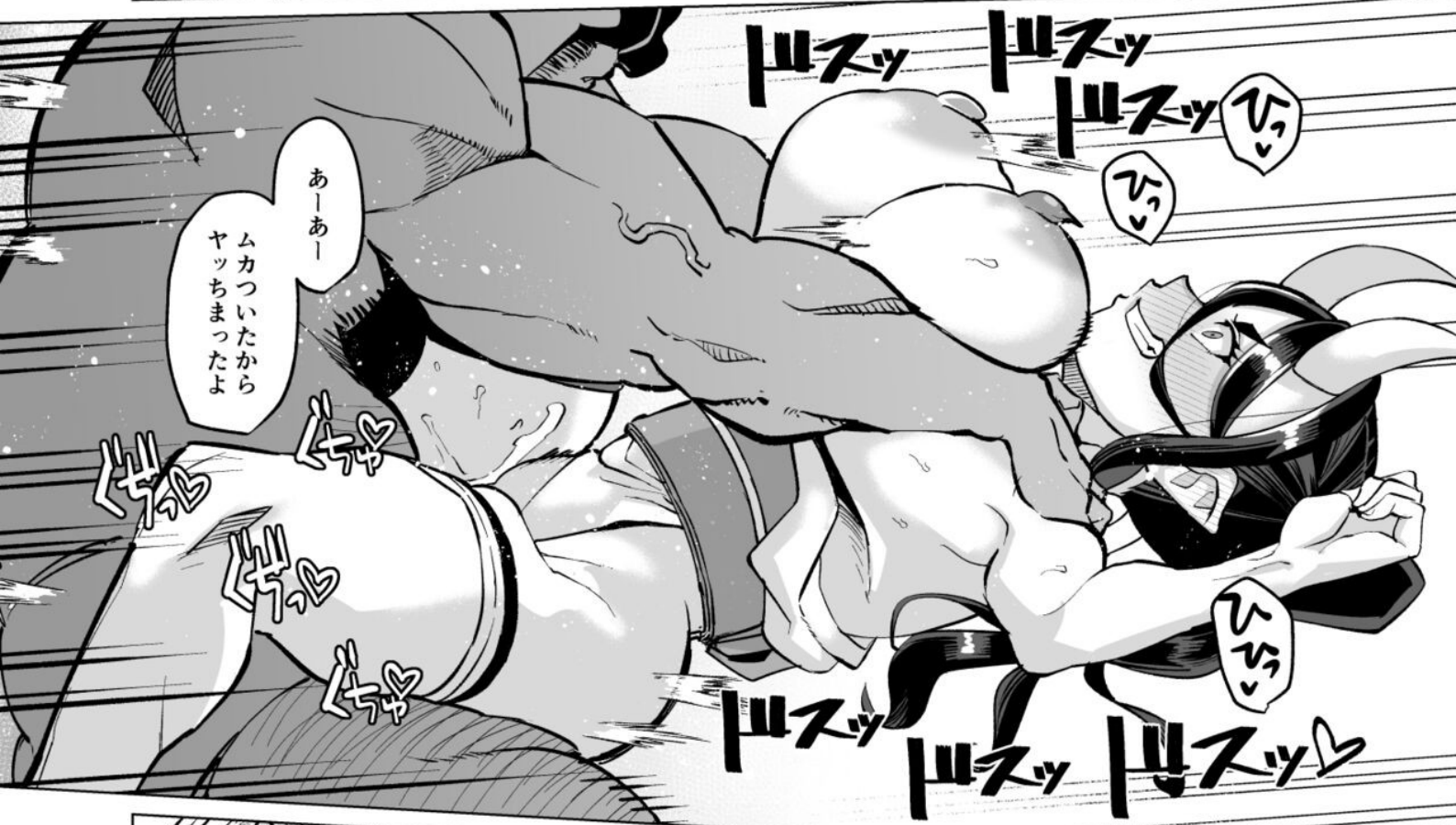


神桃…あともう一つ…

そうじゃ…あれさえ
喰えばせめて力くらいは
此奴に負けぬ…ッ









ぬきゅ...♡

誰がするかっ♡

貴様なんぞ
生張型についた
腐れ肉じゃあ♡

ゴゴゴ

ゴロ

ゴロ

ゴク

きゅ♡

くみゅ

グ

ゴク

ゴク♡

ゴク

ちんぽお♡
もっと突かぬか♡

ゴク





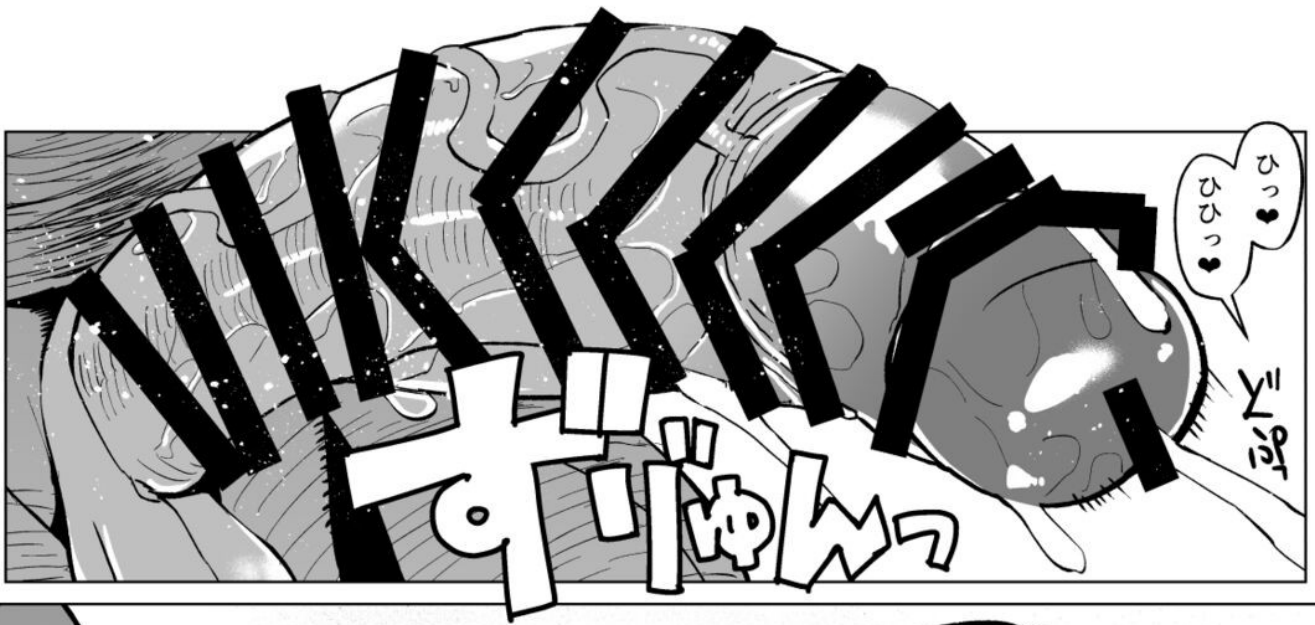
勝手に終わるな
俺の方はまだまだ
満足してないんだよ



お前頭足りないから
自分に使うって発想
なかったんだな

すげえぞ
流石桃太郎を
産ませた奇跡だ







じゃあ…今更だけど
俺の嫁になってくれ
ないか？

はあ…？



あ…いや…
なっ…なる…！
ならせて
いただく…！

そうか…じゃあ



これ

もう邪魔だよな

人間の世界で
生きていくならさ

おい…！

おい…待



その後

俺は務めていた
会社を辞め日雇
仕事を始めた

とはいっても
金は問題なかった

鬼巫女様の加護は
土地ではなく個人に
向けたものらしく
生活していくには
十分な金が黙って
いても入ってくる

仕事をするのは
まあ…無職は座りが
悪いからだ



角なしになって
巫女様はすっかり
従順になった

連日妻としての
務めを果たすべく
甘えてくる

ちなみに家の中
にいる時は常に
全裸である

昔からデカかった
乳は雄に媚びる
よう更に大きくなった



俺の肉体は神桃で
増強され続けている



放つ淫気は鬼を
狂わせるらしく



見せつけるだけで
狂ったように
しゃぶりついてくる





金棒の如く
太く長い魔羅を
嫁は難なく
受け入れる



腹は醜く変形し
子宮を潰され
ながら絶頂する

日課となった
オナホ交尾だが
飽きることはない



あの頃手に入らなかった
雌がこうして俺の腹の上で
無様にイキ果て

行為が終われば
妻として媚びへつらう



彼女も俺も
これ以上の充足はない

だが

…気が向いたら
共に水底に沈んだ
故郷を見に行っても
いいかもしれない

◇◆◇あとがき◇◆◇

お手に取って頂きありがとうございます。

永遠娘に載せるにはちょっとハードなロリババアもの
というコンセプトの作品でした。

鬼巫女様の名前はありませので彼女は名無しのオナホ嫁として

割と永めの時間を過ごすことになります。

竿役の「彼」も神桃の力で大分長生きします。

幸せそうだからいいか！イエスハッピー！

冬コミはtnsm先輩じゃない人の本予定です。お楽しみに。

有間乃ユウキ

■奥付
発行日：2023年8月13日
発行者：屑乃葉
代表者：有間乃ユウキ
連絡先：kuzunoha1210@gmail.com
印刷：サンライズ様



屑乃葉

二〇二三

